

磐城大衆新聞

毎月一日、十五日二回
 定価 一部 十銭
 廣告 (場所指定 五十銭増)
 発行所 磐城大衆新聞社
 長谷川 兵衛

愈々需要季に當面し

常磐炭界全面的に明朗

去月中の 前年對比統計

常磐の炭界はさらだに明營業用五、四〇三車、六二、四、七四〇噸、合計一、二〇八噸、省用一、五〇八噸、一、八六一噸との極めて旺盛な道程を辿つ六、九一車、八一、九一し全月分を通算すると千四百七十七噸、一萬二千二百六十六噸、即ち去月二十一日一噸で前年同期に比し實に百七十七噸、一萬二千二百六十六噸の増進を遂げ、營業用八六一車、七噸の増となつてゐる。

地方民待望の

磐城共濟病院開く

名院長 長谷部博士を始め
 各科に夫々専門家を迎へて

平町磐城共濟病院は過般開な大病院なく、尠から不便に同病院の開院を喜んでゐる。院長醫學博士長谷部喜久氏は埼玉縣出身、日赤病院に永く勤務し東京帝大研究院に入り博士の學位を得た内科專科で、臨床には定評がある。未だ三十八才の若さで大いに向後の手腕を囑目されてゐると共に各科共夫々腕家の専門醫揃へてゐる。

せん檀双葉より香し

小僧から消防組頭へ

立志傳中の材木商主

佐藤氏の人生行路

磐城地方木材商の麒麟兒村大字御厩佐藤三平氏も其の評されてゐる石城郡内郷の人生行路を尋ねると余り

にも苦勞多く、如何に立志傳中の人であつたかどうなづかれる。

◇神谷村一貧に生れた氏は如何にして社會の表面に立つ事が出来やうと幼な胸をいためつゝ平町の某木材商の小僧として住込んだ。元來が眞面目で陰日向なく働

其の實直振りは早くも主家から將來の大成を見込れてゐた。殊に商才には天才的閃きがあり、幾多先輩をして舌を巻かしたといふ

◇獨立してからの氏は働く事を生命とし正しく宛も神の如き心を以て業務に勉勵したので天分の商才と相俟ち買ふ山、賣る木材が全くトントン拍子に利がつき

現在在押しも押されぬ大内郷村の消防組頭に迄推さるゝに至つたもの。しがも勝つて油断せず、儲けて驕らず、小僧時代の如く星に明け星に暮れるの奮闘振りには衆目等しく感嘆すること。

◇先年新設せる平町驛前木材工場は千五百坪、従業員數十名、販路は常磐各炭礦をはじめ東都の木場、製材機は極めて最新のもの數臺

日々の發送數車以上は單に氏の事業の一端に過ぎず、

祝七週年記念

平・四丁目
 マルトモ 書店
 電話二二四番
 マルトモ 運動具店
 電話二三四番
 マルトモ 食堂
 電話二二三番

大衆片々

△平製氷會社事務松本氏病氣回復し従業員數十名を督勵して社の躍進盡力せん。

△平町某會社に對し非難の聲高まる、近日中に其内容を糾弾せん。

△平町某カフエーの飲食の暴利並に女給の密淫賣、其の筋の徹底的取締を要求せん。

△鹿島村消防組頭に同村郵便事務取扱所長たる鈴木一男氏に決定さる、今後氏の手腕如何を注目せん。

△平町鐵工機械同業組合の設立許可果して永久性ありや、反對者數名あるを見る近日中に解明せん。

△磐城無盡會社創立以來の躍進、驚く勿れ契約高數百萬に達す、小宅社長並に各課長の奮闘を物語る

△平町材木町附近某飲食店を根城に婦人十數名を集め晝夜の別なく飲食者に對しての跳色事件を仄聞す、果して事實か、其の内容を探知、黒幕を暴露せん。

△磐城共濟病院の開院早朝より患者門前に群をなす盛況。院長長谷部醫學博士の内科専門並に臨床の定評で其の手腕を囑目さる。

開店二十週年記念福引賣出し中

吳服高級品陳列會

於別館
 新時代の流行を網羅し傑作逸品取揃へ陳列致しましたから是非御來店御批評願います

福引賣出し初日より御同情御來店を賜り厚く御禮申上候 満員の盛況にて萬事不行届の段御容赦願上候
 尚新荷特價品續々入荷致し居り候間引續御用命願上候
 福引賣出しは十月十八日迄です
 お忘れなくお越を待つて居ります

三井吳服店

電話二八四番

通學用冬服賣出し

御待余れの通學服が全部取揃ひましたいづれも、型、生地、裁縫、共に入念なる製品です

國防色冬服	6 號	4.10 圓
		各寸20錢上り
黒小倉服	6 號	3.50 圓
		各寸20錢上り

志かや洋服店 平三 電話203



平長橋町

加藤古物店

店主 加藤義久

高橋古物店

店主 高橋由兵衛

電話一二五番

湯本町三函

湯本町 高橋薫君

湯本町三函古物問屋高橋由兵衛氏令息高橋薫君は商業第十七回卒業生の俊才で、磐城炭礦株式會社經理係課に奉職し、其の後家事都合上同會社を辭し目下の薫君は勇敢に店頭に姿を現はして商戰第一線に起つて健闘されてゐる。

君は直情徑行眞實一路の大道を生活する經濟人であり又讀書人として最新思潮の研討怠らず新人少壯の實業家として明日の大成を一般から期待されてゐる。

漫談試合 (一)

「高田・そうく、よく見君も大なる敬意と感謝を
ますね。さういふ見景坊表するものである。
さんか……」

「久本・大体この位で止め
て置ませう、切りが
りませぬから、次會は後
日に決定する事として」

「清川・どうも長時間有難
うございました。ではこ
れで閉會を致します」

「明日の人」 (一)
國府田直良氏

氏は前町會議員の國府田直
良氏と申せば頗る六つがし
くも聞えますが、實は平藝
妓組合長で平陽の紅燈街の
大統領である。同業者の訪
問などには毎度丁寧に親切
に應接して呉れる點は各諸
君に祝福するものである。

「高田・直ぐにバレルのに
口から出任せの法螺を吹
く男も相當ありますね、嫌
ですね、いつか、永戸に
行く時、同列車に乗り合し
た紳士が、私が水戸で下
りようとする時、「どう
か東京へお出でしたら是非
お寄り下さい。」ですて
名前も所も云はない癖に
「寄保・ゴルフをやつた事
のないのに、ゴルフのス
ポーツを穿いたり、馬に乗
つた事のないものが乗馬
服を着て鞭を持つて歩い
てゐるのがありますね。」

磐城炭礦屬託

齒科醫として炭礦の一角に
陣取つて堂々として醫院を
開業しつゝある鈴木齒科醫
院である。毎日數十名の外
來患者に最も親切丁寧に診
療をなすつゝある、鈴木喜
政氏は現代議士鈴木辰三郎
氏の令息にして磐中出身の
俊才で、後日本醫科大學に
學び卒業して専ら帝都に於
て研究をなして而して故山に
歸來して醫院を獨立開業な
した、氏は斯界稀に見る人
格者で其の専門の手腕は一
般の知る所ぞ喋々の要はな
い、茲に同醫院の隆昌を
祝福するものである。

齒科一般 口腔外科

鈴木齒科醫院

日本齒科醫學士 鈴木喜政
石城郡内郷村宮

磐城無盡株式會社

社長 小宅嘉久治

磐城建物株式會社

專務 井上貞次郎

平製氷株式會社

專務 松本一郎

平磐城共濟病院

診療科目

(電話六四一番)

院長 醫學博士 長谷部喜久
醫學士 多田篤雄

部長 醫學士 横山喜俊
醫學士 草刈邦彦
(每週日曜)

主任 醫學博士 長谷部喜久
技師 渡邊龍三
藥劑師 吉本孝平
高畑清志

主任 醫學士 市川繁
午後自六時至九時

泌尿器科 花柳病科
物理的療法科
産婦人科
整形外科
小兒科
内科

夜間診療科 特設

釜屋商店

魚召すから
ヒニマル凍魚

日本産手特約 三三三六番
平製氷會社
平製氷會社
平製氷會社

鯛 北寄貝
鰯 帆立貝
鰯 目抜切身
鰯 目抜切身
鰯 目抜切身
鰯 目抜切身
鰯 目抜切身

平料理屋組合

平藝妓置屋組合

醫療用藥品・工業用藥品
有名賣藥・繪具染料

平一大平藥局

電話六四二番

藥品一般

有名賣藥の處方調劑

平一水野藥局

電話六九九番

醫療藥品・工業藥品
有名賣藥・染料塗料
壁用材料・寫真材料

平四關内藥局

電話四〇番

福島縣平町堂の前四番地

平製作所

業務擔當社員 西山惠一
電話四一番

ラチオと電氣の店

富永ラチオ店

平停車場通
電話四九六番

平町田町驛前

シンガー裁縫機械會社
シンガー洋裁女學院
任主 石川元康

平川元康

ミシン現金、月賦販賣、部分品一式修繕
◎洋裁生徒募集